

大学1年生の時、一番ビックリしたのは4年生の上級生に校舎の裏「濁池（にごりいけ）」のあたりに呼び出され、「お前は生意気だ！」と言われガッツリ殴られたことであった。ちなみになぜ「濁池（にごりいけ）」というかご存じであろうか。大学から車で5分くらいのところに歴史で有名な桶狭間があり、桶狭間の合戦で、切られた武将の血で池が濁ったことから、「濁池」となったそう。また、大学の最寄り駅は名鉄線の「前後」駅だが、桶狭間の合戦で武将の首が前後に飛んでいたことから「前後」駅となったと言われている（※所説あります）。

先輩に殴られた私は、全く態度を改めることがなかったが先輩から逆に気に入られ、それ以降全く呼び出されたことなくやりたい放題であった。

親父は毎年年末に家族をハワイに連れていってくれたが、小生は高校の実力試験が年明けにあるという理由で、毎年置いてきぼりだった。その間食事は「レストラン・コスモ」で食べていた。はちや整形外科病院の西にある急坂にあったレストランで、現在はマンションが建っている。

高校生がひとりで食事しているので、店員はいぶかっていたが、毎日来るのでいろいろとサービスしてくれるようになった。メニューはとんかつ、ステーキ、生姜焼き、カレー、チャーハン、ナポリタン、かつ丼、親子丼、などなどであった。家族は年末12月28日から1月4日までいなかったので、その間昼と夜、それらを繰り返し食べていた。ある意味では贅沢かもしれない。小生は毎年留守番だったのに、妹は毎回ハワイに連れて行ってもらっていた。その差は何なのか？父親にとっては娘がかわいかったのであろう。

ある年、いつも連れていかずに悪いと思ったのか、「何かお土産を買ってきてやる。何が良い？」と聞かれたので、「腕時計を買ってきてくれ！」と言ったら、本当に買ってきてくれ、「めちゃくちゃ高かったぞ!!」と言われ渡された。とてもうれしかったのを覚えている。その時計は、今、息子の大道の腕におさまっている。

大学に入学した年の年末にやっとハワイに連れて行ってもらった。ワイキキでサーフィンを教えてもらい、結構はまった。親父にお願いしてサーフボードを買ってもらい、それから渥美半島詣をするようになった。

朝4時に大学の駐車場に仲間と集合し、2時間かけて渥美半島まで通い、赤羽、久美原、伊良湖など、ポイントを転々としていた。当然授業をさぼっていくので、当然授業表で学科をチェックして、単位が取れるように配慮していたが、ある課目で授業変更があり単位が取れなくなった。補講を受け単位はなんとか取ったが、授業変更は勘弁してくれ！と思った。その頃はサーフィンから戻るとそのまま部活へ行きラグビーをやって帰るという生活で、勉強はテスト前だけしていた状態であった。

(2024年3月5日)